



様式第3号 (第8条関係)

事業者達成状況報告書

令和6年7月18日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 東京都新宿区市谷本村町5番地1号

氏名 防衛省 陸上幕僚長 森下 泰臣 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)



鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項(第9条第3項)の規定により次のとおり提出します。

Table with multiple sections: 住所, 氏名, 主たる業種, 該当する事業者要件, 計画期間, 温室効果ガスの排出量等, 原単位当たりの温室効果ガス排出量等, 寄与的取組, 差引排出量. Includes detailed data on CO2 emissions and energy usage.

推進体制	<p> 特定事業者 防衛省 事務次官 エネルギー管理統括者 (地方協力局長) エネルギー管理企画推進者 (地方協力局環境政策課企画調整官) 陸上幕僚長 陸上自衛隊 エネルギー管理統括者 (防衛部施設課長) 陸上自衛隊 エネルギー管理企画推進者 (環境保全班長) 中部方面總監 中部方面隊 エネルギー管理統括者 (整備部施設課長) 中部方面隊 エネルギー管理企画推進者 (施設課総括班長) 駐屯地 エネルギー管理統括者 (駐屯地業務隊長) 地方協力本部 エネルギー管理統括者 (地方協力本部長) 駐屯地 任意エネルギー管理者 (エネルギー管理担当者) 地方協力本部 任意エネルギー管理者 (管理班長) 駐屯地 分屯地 演習場 射撃場 訓練場 本部 募 集 所 案内所 地 域 事務所 </p>		
	年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等
	令和5年度	陸上自衛隊米子駐屯地、美保分屯地及び自衛隊鳥取地方協力本部	損耗更新時の環境物品等の購入推進
	令和5年度	陸上自衛隊米子駐屯地、美保分屯地及び自衛隊鳥取地方協力本部	昼休みの一斉消灯
	令和5年度	陸上自衛隊米子駐屯地	照明設備のLED化率を向上
	令和5年度	陸上自衛隊米子駐屯地・美保分屯地・鳥取地方協力本部	室内温度の適正管理
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	鳥取県西部総合事務所発足「弓ヶ浜の白砂青松(砂浜・松林)」の清掃に参加し、緑化活動等を行った。		
特記事項	対象施設 「陸上自衛隊米子駐屯地」鳥取県米子市両三柳2603 「陸上自衛隊日光演習場」鳥取県日野郡溝口町福兼宇福永堀谷頭 「陸上自衛隊米子自動車訓練場」鳥取県米子市岡成字源六新田522-2 「陸上自衛隊米子射撃場」鳥取県米子市河崎3286-1 「陸上自衛隊美保分屯地」鳥取県境港市小篠津町 「自衛隊鳥取地方協力本部」鳥取県鳥取市富安2-89-4 鳥取第一合同庁舎6階 「自衛隊鳥取地方協力本部鳥取募集案内所」鳥取県鳥取市東町2丁目302 鳥取第二地方合同庁舎1階 「自衛隊鳥取地方協力本部倉吉地域事務所」鳥取県倉吉市駄経寺町2丁目15 倉吉地方合同庁舎3階 「自衛隊鳥取地方協力本部米子地域事務所」鳥取県米子市西福原3丁目3-1 YNT第4ビル2階		

- 注1 該当する口には、レ印を記入してください。
- 2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
- 3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
- 4 主たる業種には、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。
- 5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
- 6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
- 7 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用などを記入してください。